



能楽体験・鑑賞をしました(4年生)

11月29日(水)に地域の方を通じて奈良県から能楽師の方をお招きして、4年生が能楽の体験や鑑賞をしました。能楽は650年以上の歴史をもつ伝統芸能です。観阿弥・世阿弥の親子の名前は、中学校以上の歴史の教科書にも登場しますが、この親子の時代(室町時代)に芸能として大成したと言われています。能楽は、歌と踊りの劇(日本風のミュージカル)と言えます。同時代の狂言は、こっけいな話が多いので今の喜劇といったところでしょうか。6年生の時に、室町時代の文化として学習をしますので、そのときに改めて能楽について子どもたちには調べてほしいと思います。



今回の学習では、能楽の歴史などをクイズ形式で学んだり、扇子を使って実際に踊ったりしました。衣装や能面を実際に見たり、着用したりすることもしました。「狸々(しょうじょう)」という演目も鑑賞しました。昔から受け継がれてきた言葉や節回しを肌で感じ、日本文化の奥深さを子どもたちなりに味わうことができました。日本には能楽以外にたくさんの伝統文化がありますので、これを機会に興味をもってほしいと思います。

潮見ふるさと音頭を踊りました(3年生)

12月1日(金)に3年生が潮見音頭体験学習を行いました。総合的な学習の時間に「受けつごう ふるさと潮見」という単元を学習していますので、その一環として地域の方から、潮見ふるさと音頭を教えてくださいました。音楽科の学習や集会で歌ったり踊ったりして



いたので、子どもたちは、潮見ふるさと音頭の歌詞や踊り方は、ある程度知っていましたが、今回は細かい振り付けまでしっかりと体験することができました。歌詞に登場する潮見の名所、旧跡などにも関心をもってほしいと思います。地域を知ることができる大事な芸能の一つですので、子どもたちはそれを受け継いでいながら、潮見地区をより好きになることを望んでいます。